



ウィキペディア
フリー百科事典

宮地文一

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

宮地 文一（みやち ぶんいち）は戦前**岐阜県**の教育者、政治家。**土岐郡日吉尋常高等小学校長**、**可児郡御嵩小学校長**、**日吉村長**。

経歴

慶応元年（1865年）10月25日**美濃国土岐郡半原村庄屋宮地家**に生まれた^[1]。地元の寺子屋で土屋理助に学び、**明治4年**（1871年）の廃校まで残った^[1]。**1873年**（明治6年）**学制**に基づき開校した**勸学義校**に入学し、南垣外の寺子屋師匠**大江密成**の子**小川玄寿**に学んだ^[1]。**1880年**（明治13年）12月第4代**木村甚之助**が辞職すると、**1881年**（明治14年）1月半原学校第5代となり、**1882年**（明治15年）3月まで訓導を務めた^[1]。

1882年（明治15年）**岐阜県師範研修学校**に入学し、**1885年**（明治18年）6月高等師範学科を卒業した^[1]。同年8月から**1888年**（明治21年）12月まで**日吉学校初代校長**を務めた後、**可児郡御嵩小学校長**等を歴任した^[1]。

1898年（明治31年）頃御嵩小学校在職中、**可児郡書記嵯峨金一郎**と**平牧村二野前山神割**でサイ類の顎の化石を発掘し^[2]、**1921年**（大正10年）**東北帝国大学松本彦七郎**により**テレオケラス属ブラキポテリウム**亜属の新種***Teleoceras (Brachypotherium) pugnator***として記載された^[3]。

1909年（明治42年）3月から**1920年**（大正9年）4月まで**日吉尋常高等小学校7代校長**を務め、**1922年**（大正11年）5月27日から**1925年**（大正14年）5月28日まで**日吉村長**、**1929年**（昭和4年）**村会議員**、**1931年**（昭和6年）から**1932年**（昭和7年）まで**日吉信用組合長**を歴任した^[1]。

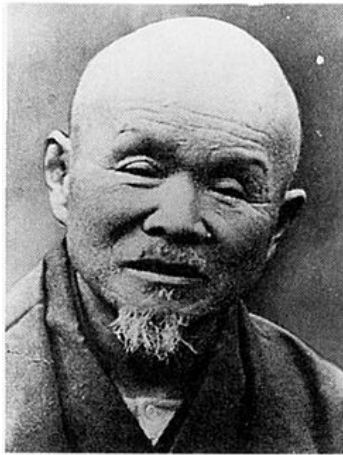
1936年（昭和11年）10月12日長男**宮地志行**に先立たれ、22日後を追うように死去した^[4]。葬儀は合同で行われた^[4]。

先祖

半原宮地氏は**安藤氏**・**遠藤氏**・**山内氏**と共に**土岐氏**に属し、**天文13年**（1544年）**日吉神社**を創建した^[5]。

- 市之丞（**享保8年**（1723年）5月没） - 宮地本家11代九郎左衛門次男。分家初代^[1]。
- 九郎左衛門（**元文元年**（1736年）10月没）^[1]
- 九郎右衛門（**寛保3年**（1743年）3月没）^[1]
- 隼人（**宝暦13年**（1763年）9月没）^[1]
- 安之丞（**天明5年**（1785年）7月没）^[1]
- 金松（**文化14年**（1817年）7月18日没）^[1]

みやち ぶんいち
宮地 文一



生誕	慶応元年10月25日 （1865年12月12日 ） 美濃国土岐郡半原村（岐阜県瑞浪市日吉町半原）
死没	1936年（昭和11年）10月22日
国籍	 大日本帝国
出身校	岐阜県師範学校高等師範学科
職業	半原学校訓導、日吉学校長、可児郡御嵩小学校長、日吉尋常高等小学校長、日吉村長
配偶者	宮地けい
子供	宮地志行
親	宮地兵次郎、津宇
親戚	渡辺徳助（義弟）



1903年（明治36年）3月日吉第一小学校高等科卒業記念写真

- 7. 求馬（天保7年（1836年）9月没）^[1]
- 8. 市蔵（安政2年（1855年）11月没）^[1]
- 9. 市兵衛（1883年（明治16年）没） - 半原村庄屋、1873年（明治6年）戸長^[1]。
- 10. 兵次郎寛朋（天保9年（1838年） - 1910年（明治43年）） - 日吉村三浦弥五八五男。1881年（明治14年）戸長となり、中山道中街道開設を主導した^[1]。

家族

- 父：宮地兵次郎
- 母：津宇（つう、天保14年（1843年） - 1925年（大正14年）） - 南垣外祢宜柘植河内守図次の長女^[1]。
 - 姉：はん（文久2年（1862年） - 1939年（昭和14年））^[6]
 - 弟：猪野重次郎^[6]
 - 弟：美一（みいち、1879年（明治12年）9月18日 - 1961年（昭和36年）11月18日） - 東京帝国大学英文科卒業後、東京千駄ヶ谷に住み、戦災後帰郷した^[1]。
 - 妹：千代 - 渡辺徳助妻^[6]。
- 妻：けい（1873年（明治6年）5月7日 - 1961年（昭和36年）4月14日） - 可児郡今渡地主十一屋田口家娘^[1]。
 - 長女：筆子（1893年（明治26年）生）^[6] - 熊崎健一郎弟康人妻^[4]。
 - 次女：秋子（1897年（明治30年）生） - 林三郎妻^[6]。
 - 長男：宮地志行 - 洋画家（本名は景樹）。



志行筆「校長先生」
1932年（昭和7年）文一がモデル



宮地兵次郎 1905年（明治38年）



志行筆「ランプ」1915年（大正4年）頃 はんがモデル



1907年（明治40年）可児郡宝積寺にて 右から宮地秋子、景樹、けい、文一、ふで

脚注

1. [^] abcdefghijklmnopqrst 文一の記録.
2. [^] 『岐阜県史跡名勝天然記念物調査報告書 第一回』 岐阜県内務部、1923年1月。岐阜県史蹟名勝天然記念物調査報告書 (<https://books.google.co.jp/books?id=KWuKJHy7jK8C>) - Google ブックス
3. [^] Matsumoto, Hikoshichirô (1921-01). “Descriptions of Some New Fossil Mammals from Kani District, Prov. of Mino, with Revisions of Some Asiatic Fossil Rhinocerotids” (<https://tohoku.repo.nii.ac.jp/records/10616>) (英語). *Science reports of the Tohoku Imperial University. 2nd series, Geology* (Tohoku Imperial University) **5** (3): 75-A14. hdl:10097/30172 (<https://hdl.handle.net/10097%2F30172>). CRID 1573950401700972928 (<https://cir.nii.ac.jp/crid/1573950401700972928>)⁸).
4. [^] abc 紹介.
5. [^] “日吉神社 (<http://www.gifu-jinjacho.jp/syosai.php?shrno=1870>)”. 岐阜県神社庁. 2018年2月10日閲覧。
6. [^] abcde 写真.

参考文献

- “画家宮地志行の紹介 (<http://shikoh.g1.xrea.com/sub02.htm>)”. 宮地志行遺作保存会. 2018年2月9日閲覧。

- “宮地文一（画家宮地志行の父）の記録 (<http://shikoh.g1.xrea.com/sub09.htm>)”. 宮地志行遺作保存会. 2018年2月9日閲覧。
- “宮地兵次郎・文一・志行の写真 (<http://shikoh.g1.xrea.com/sub091.htm>)”. 宮地志行遺作保存会. 2018年2月9日閲覧。

外部リンク

- 画家 宮地志行の公式サイト (<http://shikoh.g1.xrea.com/>)
- 宮地兵次郎の公式サイト (<http://miyachi2002jp2.g1.xrea.com/>)
- 岐阜県瑞浪市立日吉小学校 (<http://nitisho.city.mizunami.gifu.jp/>)



ウィキメディア・コモンズには、**宮地文一** (**<https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:%E5%AE%A%E5%9C%B0%E6%96%87%E4%B8%80?uselang=ja>**)に関連するカテゴリがあります。

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=宮地文一&oldid=104534866>」から取得